

2021 年度オンライン公開講座オレンジリボン普及イベント 「防ごう子ども虐待、地域で支えよう親と子」

加藤重子 進藤美樹 出田聡子 藤尾順子 山内京子

はじめに

広島文化学園大学看護学部ボランティアサークル主催、呉市共催の児童虐待防止イベント「市民公開講座」は、6回目を迎えた。今年度も昨年度に引き続き、オンライン開催となった。コロナ禍で児童虐待数は、増加している。このような時こそ公開講座開催の意義があるとボランティアサークルメンバーおよび支援者・シンポジストが一丸となって取り組んだ。

1. 日時 : 令和4年1月29日(土)13時30分～15時
2. 場所 : 広島文化学園大学看護学部、Zoom 会議室
3. テーマ : 「防ごう子ども虐待、地域で支えよう親と子」～子ども虐待防止と通告(通報)の正しい知識を得るとともに地域で支える人がいることを理解するために～
4. プログラム

企画:ボランティアサークル 運営:ボランティアサークル

責任者 2年生 高光里己菜 2年生 柏木千乃

総合司会 2年生 水田璃杏

挨拶 看護学部長 山内京子

シンポジウム:「防ごう子ども虐待、地域で支えよう親と子」

ファシリテーター:2年生 高光里己菜 2年生 柏木千乃

シンポジスト : 呉市主任児童委員 小田雅子 様

稲垣ファミリーホーム 職員 中田友美 様

稲垣ファミリーホーム 専門里親 稲垣りつ子 様

呉市子育て支援課 家庭児童相談室 林 佐智子 様

看護学部学部長 挨拶 山内京子

看護学部ボランティアサークル顧問 挨拶 加藤重子

5. 支援者:広島文化学園大学看護学部小児看護学領域教員 藤尾順子 進藤美樹 出田聡子

6. 共催 広島文化学園大学看護学部

共催 呉市

後援 NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク、広島県栄養士会、広島県老人クラブ連合会

7. 実施結果

広島文化学園大学看護学部ボランティアサークルによるオレンジリボン啓発 市民公開講座は、第6回を迎えた。コロナ禍の中、開催が危ぶまれたが、「この時期だからこそ開催の意義がある」とサークルメンバーが一丸となって、関係者の支援を受けながらオンライン開催となった。参加人数は、168名。

開催にあたって、オレンジリボン配布目標を決めて大学内や認知症カフェ、呉高専、全国一斉

オレンジリボン配布活動に参加し子ども虐待防止活動に取り組んだ。

オレンジリボン啓発イベント始動（広島文化学園大学 呉・阿賀キャンパス中庭にて）



ボランティアサークル1年生・2年生

高光里己菜、柏木千乃、清水春香、木本彩香、上川華宝、高原和呼、住吉晴花、水田璃杏
矢野静香、西岡莉菜、西岡千尋、山本靖菜

1) 子ども虐待防止市民公開講座参加者の児童虐待に関する認知度についてアンケート調査

(1) 質問項目

問1 オレンジリボンが児童虐待防止のシンボルマークの認知について

問2 オレンジリボンの由来について

問3 児童虐待の種類について知っているもの

問4 通報ができる場所

問5 通報は、疑いがあると思うでもできること

問6 通報しても通報者が特定されないことについて

問7 オレンジリボンの周知や児童虐待防止の啓発に有効な方法

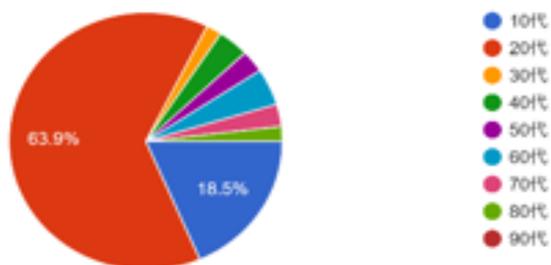
問8 児童虐待防止のためにどれが最も有効か

問9 あなた自身ができること

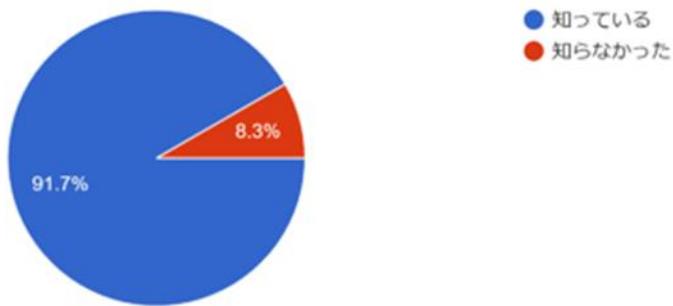
(2) 回答

回答件数 108 件

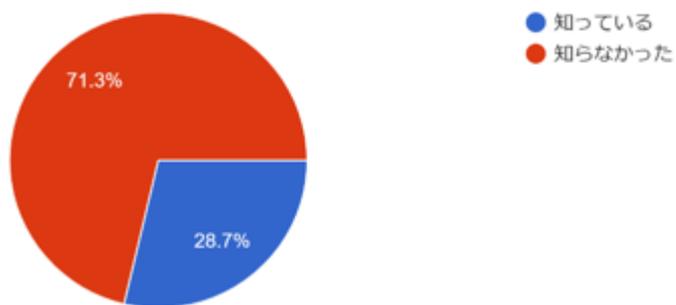
回答者年代



問1 オレンジリボンが児童虐待防止のシンボルマークとして使われていることについて

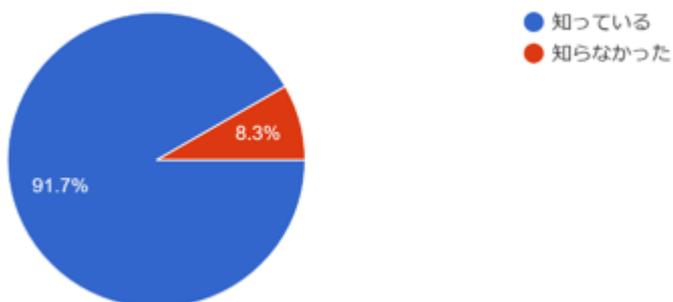


問2 オレンジリボンの由来について

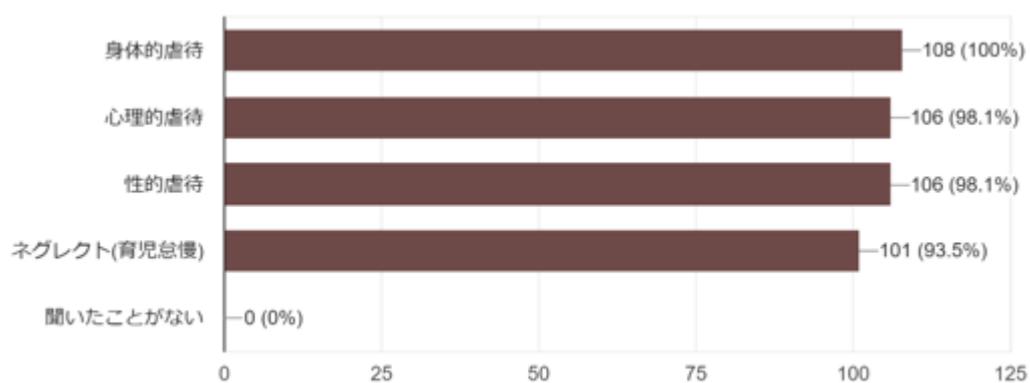


問3 児童虐待の種類について

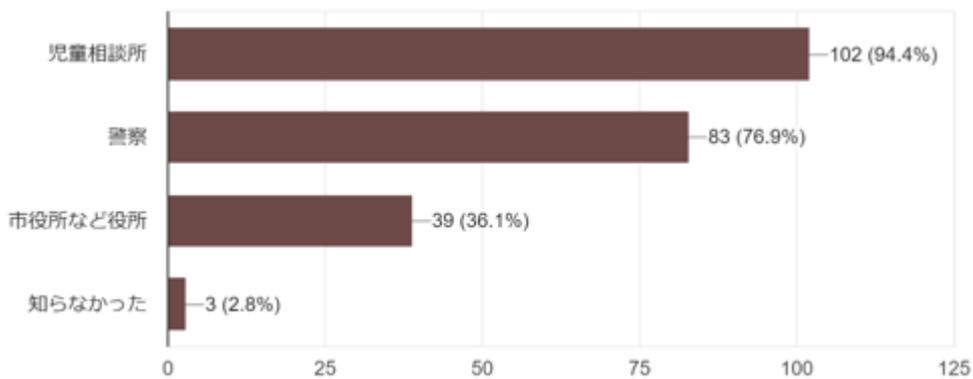
① 児童虐待には種類があることを知っていますか



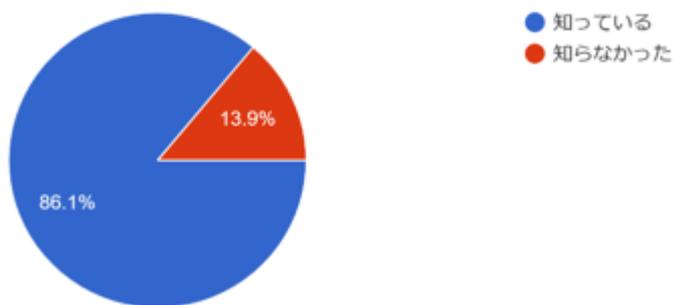
② 知っているものはどれですか



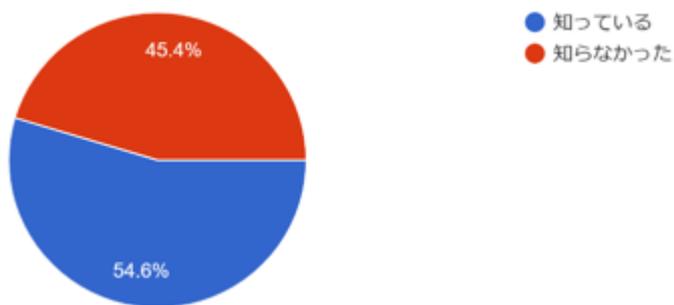
問4 通報ができるところのうち、知っているところはどこですか



問5 通報は、「疑いがあると思う」でもできることを知っていますか



問6 通報しても通報者が特定されないよう配慮されることを知っていますか



問7 オレンジリボンの周知や児童虐待防止の啓発は、どのような方法が有効だと思いますか。

該当などで啓発グッズを配布する

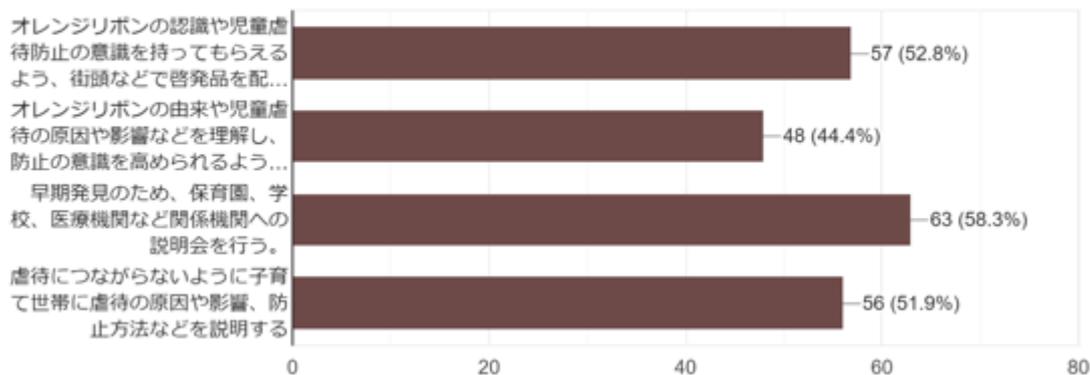
オレンジリボンの由来・虐待の原因影響を理解し防止意識を高める講座開講する。

早期発見のため、保育園、学校、医療機関、関係者への説明する

子育て世代に楽隊の原因・影響、帽子方法を説明する

啓発には、幅広く行う方法と、対象を絞る方法があ...すか。（下記の内容から2つ選んでください。）

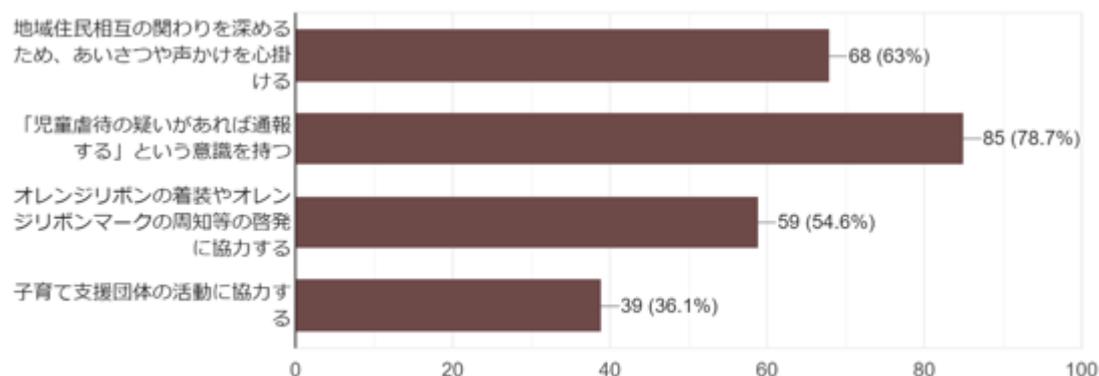
108件の回答



問8 児童虐待防止のためにどれが最も有効であると思いますか



問9 児童虐待防止のために、あなた自身ができること



(3) アンケート結果のまとめ

- ・ オレンジリボンの学生の認知度は、94.4%と高い値であった。
- ・ オレンジリボンの由来の認知度は、28.7%であった。
- ・ 虐待の種類認知度は、身体的虐待が100%、心理的虐待が98.1%、性的虐待が98.1%、ネグレクトが93.5%といずれも高い値であり、聞いたことがないのは、0%であった。
- ・ 虐待の疑いでも通報できる場所の認知は、児童相談所94.4%、警察83%、市役所などの役所36.1%知らないは、2.8%であった。
- ・ 通報者が特定されないよう配慮されることを「知っている」と回答した者は54.6%（前々年76%、

前年 69%) であった。

- ・オレンジリボンの周知、児童虐待防止の啓発に有効だと思われる方法では、「③保育園、学校、医療機関などへの説明会」が 58.3%で最多、次いで「①街頭などで啓発品を配布」が 52.8%「④子育て世帯への説明」 51.9%であった。
- ・児童虐待防止のために最も有効であると思われる対策では、「②地域住民相互の関わりを深める取り組み」が 25.9%「④保育園、学校、医療機関の通報の意識を持つ」が 23.1%、次に「⑤家事支援、療育、家事手伝いの支援策の拡充」が 20.4%であった。
- ・児童虐待防止のための自身の取り組みでは、「②疑いがあればすぐ通報の意識を持つ」が 78.7%、次いで、「①あいさつや声掛けを心掛ける」が 63%で、「オレンジリボン装着、マークの啓発」が 54.6%であった。

コロナ禍で、子ども虐待増加、緊急事態宣言下に伴う、子ども食堂の活動停止などの報道を耳にする機会が多くなった。本学看護学部のボランティア活動においても、子どもシェルターのボランティア受け入れ制限、ファミリーホームへの訪問自粛、大学祭の中止など対面でのオレンジリボン配布活動機会が減少している。

ウィズコロナの時代となり、本公開講座は、来年度も開催予定で活動を計画している。呉市や関係機関と連携して啓発活動を広めるべく支援していくことが求められている。

8. ボランティアサークル活動の様子（写真）

NPO 法人 全国虐待防止ネットワーク主催 全国一斉街頭配布に参画



呉駅で、手作りオレンジリボン、啓発チラシ、マスク配布



安芸阿賀駅と広駅で、手作りオレンジリボン、啓発チラシ、マスク配布